

# 南高図書館だより

2024年11月号  
浦和南高校図書館

## 図書委員のおすすめ本



### 『かがみの孤城』

辻村深月／著 ポプラ社

不登校になったところの前で、ある日鏡が光り始めた。鏡をくぐり抜けるとそこは城のような不思議な建物だった。そこには、ころと似た境遇の7人が集められた。なぜこの7人が集められたのか。どんな時でも一人ではないと思わせてくれるあたたかい物語です。ぜひ読んでみてください。

### 『君の臍臓をたべたい』

住野よる／著 双葉社

物語は、偶然出会ったクールで孤独な少女、さくらと主人公が織り成す友情や恋愛模様を通じて進んでいきます。さくらが持つ秘密である臍臓の病気を知ったことで、彼らの関係には深い影が落ちます。しかし、その中で彼らはお互いに支え合い、成長していく姿が胸を打ちます。



### 『やる気に頼らず「すぐやる人」になる37のコツ』

大平信孝／著 かんき出版

学生なら一度は「今はやる気ないから勉強は後でやろう」

「この課題は面倒くさいから後でやろう」

と思った事があると思います。でも、もし集中力やモチベーションに左右されず行動できる方法があるとしたら実践してみたいと思いませんか？

本書では先延ばしをなくすための37個のコツを紹介。自分に合うとっかかり方がきっと見つかります。また、この手の本にしては文字が大きく読みやすいので本が苦手な人にもオススメです。

## 図書館からのお知らせ

◆冬休みのお知らせ◆

### 冬休み中の図書館について

開館時間 8:30～16:30

貸出冊数 10冊まで (12/11(水)～冬休み中)

返却期限 ●12/11(水)～12/26(木)貸出分 → 1/10(金)

●それ以降 → 貸出日の2週間後

#### 冬休み中の開館スケジュール

日	月	火	水	木	金	土
			12/25	26	27	28
29	30	31	1/1	2	3	4
5	6	7				

予定は変わることがあります。  
最新情報は、南高図書館 HP で確認できます。

☐=休館

第5弾

あなたも挑戦！「図書館たほいや」クイズ ～次のお題の正解は？～

お題【雪】 出典：『日本語表現大辞典 比喩と類語三万三八〇〇』(小内一／著 講談社)

※宮沢賢治の文章を当ててください※

- 1、「鷲さきが、雪の降るように、ぎゃあぎゃあ叫びながら、いっぱい舞いおりにくる」
- 2、「溶け残った雪が、水たまりのようにとろとろに白く光る」
- 3、「大きい牡丹雪がほうっと浮かび流れて来る。なんだか静かな嘘のようだった」
- 4、「雪の色が灰ほのかに青く煙る」

ヒント(正解以外の文章※五十音順)：芥川龍之介、川端康成、村上春樹

正解は一番下にあります↓



「図書館たほいや」キットあります。やってみたい人は4人以上のメンバーを集めて、図書館へ来てください。1回遊ぶのに、20分以上かかります。慣れていない場合は、昼休みより放課後のほうがゆっくり遊べてオススメです。



## 知識の本

### 新しい、美しい日本の図書館

立野井一恵／著 エクスナレッジ

2000年以降にオープンした(移転・改修含む)、貸出や閲覧だけでなく建築的にも美しく居心地も良い、全国各地の図書館を紹介する本。東日本からは、表紙の円形劇場のような書架を並べる石川県立図書館や、かつて県議会議事堂だった風格のあるロビーを有する茨城県立図書館、埼玉県からはさいたま市立大宮図書館が美しい写真と共に紹介されています。

### 船上の助産師

小島穂奈／著 ほんの木

2014年から紛争地で助産師として働き始めた著者は、2016年に初めて行った救助船での仕事がきっかけとなり、今も地中海で救助船に乗る。地中海では、紛争や暴力から逃れるため、ボートで海を渡る人々が後を絶たない。救助船は、遭難したボートを捜索し救助する。スタッフとの軋轢や救助した相手への苛立ち、それでも世界の広さを知ることができる仕事の魅力を語る。

### 東大ファッション論集中講義

平芳裕子／著 筑摩書房(ちくまプリマー新書)

普段、神戸大学で「ファッション文化論」を教えている先生が、東京大学で行った四日間の集中講義「ファッションを考える／ファッションで考える」の内容を書き起こした本。かつてファッションは「ある時代に限られた気まぐれな流行」であり、何が流行するのか論理的に説明することが困難なため、学問として認められなかったが、現在はファッションを通して人間の文化や社会を解き明かすためのファッションの理論化が進んでいる。人が服を着る理由、ファッションとは何か？

### ショートケーキは背中から

平野紗季子／著 新潮社

芋が好きすぎて、高校時代のあだ名はポテト。美味しいスープを飲めば「この汁の湖畔に住みたい」(p35)と思い、オムライスをはじから食わずに卵とソースが50:50になるところヘスプーンを突き立てる。嫌いだった食べものを美味しいと知ってしまったとき、「人は過去の自分と別れていくのだな」(p55)と思う。駄菓子から有名レストランのメニューまで、熱く切なく食べものの魅力を語る、小学生の頃から食日記をつけ続けた著者によるフードエッセイ。

### 世界28言語図鑑 多言語を学ぶためのガイドブック

東京外国語大学ワールド・ランゲージ・センター／編 大修館書店

東京外国語大学で専攻できる世界の28の言語について、各言語のプロフィール、あいさつと会話例、言語の特色などを、豊富な図版とともに各言語専門の先生が紹介するビジュアルブック。各言語についてのエッセイや、おすすめ教材も掲載する。また、「一番〇〇なことば」や「少数言語を知ろう」、「翻訳しにくい世界のことば」など言語に関するコラムもあります。

### 5分間ミステリー

文庫コーナー

ケン・ウェバー／著 片岡しのぶ／ほか訳 扶桑社(扶桑社ミステリー)

毎週木曜に大酒を飲む男性医師。今週も酔いつぶれた木曜日、医師の妻が遺体となって発見された。酒の勢いで医師が殺したのか？ だが本人は酔っ払って正体をなくして…。5分で読めるミステリークイズ集。全37編収録。第2作『新5分間ミステリー』も新しく入っています！

## 小説・文学

### 生殖記

朝井リョウ／著 小学館

謎の語り手によって語られる、家電メーカー総務部勤務の尚成というオス个体についての実況。尚成はその場の空気を読む能力が高く、中身なしの相槌を駆使して生きている。幼体の尚成はある事情により、共同体で擬態するために、この能力を高めざるを得なかった。語り手の正体が気になりつつ頁をめくるうち、尚成の迷いと戸惑い、諦めと期待の渦に引き込まれていく。

### いつか月夜

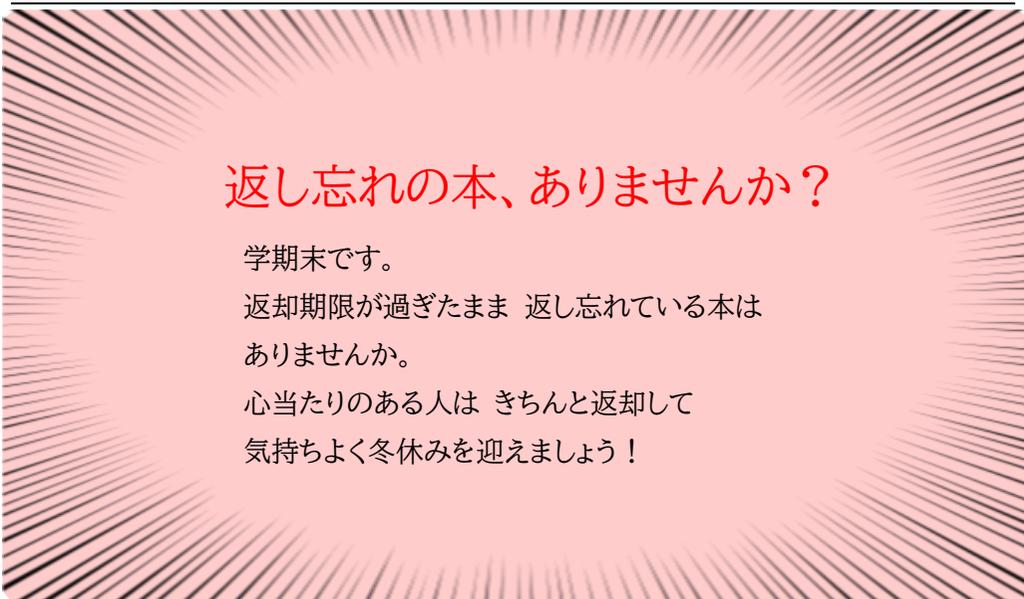
寺地はるな／著 角川春樹事務所

「いつも月夜に米の飯」は、「何不自由ない生活、満足のいく暮らし、という意味」(p55)が転じて、「人生ってそうまくはいかないよね」(p56)というニュアンスで使われることわざ。社会人の實成は得体の知れない不安を遠ざけるため、夜中に何も考えずにひたすら歩く。やがて「深夜の散歩」メンバーは次第に増えていく。会社の同僚、同僚と同居する中学生、元カノ、元カノの住むアパートの管理人。それぞれ事情を抱えながら、歩き続ける。「いつも月夜」ではないけれど。

### フェイク・マッスル

日野瑛太郎／著 講談社

人気アイドル・大峰颯太が3カ月で肉体改造をし、ボディビルの大会で上位入賞する。こんな短期間での筋肉にはなれるはずがない、と炎上するも、本人は疑惑を否定し、パーソナルジムを六本木にオープンする。週刊誌の新人記者・松村はジムに潜入し、大峰の筋肉の謎に迫るが…。



## 返し忘れの本、ありませんか？

学期末です。

返却期限が過ぎたまま 返し忘れていた本は

ありませんか。

心当たりのある人は きちんと返却して

気持ちよく冬休みを迎えましょう！